

令和6年度決算 予算決算委員会資料 企画管理部

- 1 企画管理部決算状況調べ（一般会計） 1頁
- 2 令和5年度決算 予算決算委員会の意見・要望・指摘事項
に対する処置状況 3頁
- 3 令和5年度決算 監査委員の意見に対する回答状況 4頁

様式 1
歳出

企画管理部 決算状況調べ(一般会計)

区分(款項目)	予算現額 A 円	決算額 B 円	翌年度繰越額 C 円
(款)2 総務費	10,733,763,100	10,109,434,490	46,421,640
(項)1 総務管理費	3,976,801,000	3,789,831,495	0
(目)1 一般管理費	3,560,831,000	3,396,246,059	0
(目)2 人事管理費	168,144,000	155,430,606	0
(目)3 広報広聴費	156,590,000	153,301,562	0
(目)4 文書費	61,539,000	58,712,403	0
(目)9 公平委員会費	1,027,000	974,397	0
(目)10 恩給及び退職年金費	3,940,000	2,402,123	0
(目)11 国際親善費	24,730,000	22,764,345	0
(項)2 企画費	6,676,385,100	6,243,401,425	46,421,640
(目)1 企画総務費	406,406,000	401,692,094	0
(目)2 企画調査費	544,563,000	394,621,742	8,290,000
(目)3 文化振興費	2,648,688,100	2,604,165,315	20,000,000
(目)4 文化施設費	110,709,000	106,656,739	0
(目)5 情報管理費	1,764,683,000	1,601,671,856	0
(目)6 外国語専門学校費	272,390,000	267,143,848	0
(目)7 ガラス造形研究所費	255,948,000	245,024,662	0
(目)8 ガラス美術館費	672,998,000	622,425,169	18,131,640
(項)7 統計調査費	67,697,000	63,321,570	0
(目)1 統計調査総務費	32,337,000	32,089,334	0
(目)2 統計調査費	35,360,000	31,232,236	0
(項)8 監査委員費	12,880,000	12,880,000	0
(目)1 監査委員費	12,880,000	12,880,000	0

執行率 (B+C)/A %	不用額 A-B-C 円	不用額の主なもの	備考
94.6%	577,906,970		
95.3%	186,969,505		
95.4%	164,584,941	【総務一般管理費(職員課)】職員手当等:152,572,623円	
92.4%	12,713,394	【職員厚生費(職員課)】委託料等:2,620,352円 【職員研修費(職員研修所)】手数料等:8,782,209円	
97.9%	3,288,438	【広報費(広報課)】印刷製本費等:2,789,011円	
95.4%	2,826,597	【文書管理費(文書法務課)】委託料等:1,564,159円	
94.9%	52,603		
61.0%	1,537,877	【恩給及び退職年金費(職員課)】恩給及び退職年金等:1,537,877円	
92.1%	1,965,655	【国際親善費(文化国際課)】食糧費等:1,965,655円	
94.2%	386,562,035		
98.8%	4,713,906	【企画一般管理費(企画調整課)】共済費等:2,034,504円 【企画一般管理費(秘書課)】その他負担金:1,671,776円	
74.0%	141,651,258	【選ばれるまちづくり事業費(企画調整課)、(広報課)】 補助金等:53,181,999円 【スマートシティ推進事業費(スマートシティ推進課)】 委託料等:64,292,145円	
99.1%	24,522,785	【富山ガラス工房事業費(文化国際課)】 補助金等:6,016,021円 【文化施設整備事業費(文化国際課)】 委託料等:12,787,263円	
96.3%	4,052,261	【婦中ふれあい館管理運営費(婦中ふれあい館)】 委託料等:4,052,261円	
90.8%	163,011,144	【情報管理事務費(情報システム課)】委託料等:163,011,144円	
98.1%	5,246,152	【管理運営事務費(外国語専門学校)】報償費等:5,138,742円	
95.7%	10,923,338	【管理運営事務費(ガラス造形研究所)】委託料等:10,864,155円	
95.2%	32,441,191	【管理運営事務費(ガラス美術館)】委託料等:11,574,628円 【展覧会開催事業費(ガラス美術館)】委託料等:13,918,762円	
93.5%	4,375,430		
99.2%	247,666		
88.3%	4,127,764	【委託統計調査費(企画調整課)】報酬等:4,088,726円	
100.0%	0		
100.0%	0		

様式2

令和5年度決算 予算決算委員会の 意見・要望・指摘事項に対する処置状況

所属	意見・要望・指摘事項	処置状況
	該当なし	

様式3

令和5年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所属	監査委員の意見	回答状況
行政経営課	行政改革実施計画について、着実な計画の推進に努められたい。	<p>本市では、平成17年12月に「富山市行政改革大綱」を策定し、令和6年3月まで4期19年にわたり、行政改革に取り組んでまいりました。</p> <p>令和3年度から令和7年度を期間とする第4期実施計画では、人口減少・超高齢社会の進行に伴う厳しい財政状況、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により急速に進んだ働き方の変化、「新しい生活様式」に対応するデジタル行政の推進といった情勢に対応するため、難易度の高い取組項目に重点を絞った丁寧な改革を実施してまいりました。</p> <p>その結果、取組項目として掲げた56項目のうち、「押印の見直し」や「Web会議の推進」などをはじめ、「センサーネットワークの利活用」及び「市公式LINEを活用した情報発信・オンライン申請」などの今日的な行政課題までの51項目については、目標を達成する成果がでております。</p> <p>一方、残りの5項目のうち、「AI・RPA等ICT活用の推進」や「公の施設の使用料の適正化」などを含む4項目については、それぞれ着実に見直しを行いましたが、進捗が目標より遅れる結果となっております。</p> <p>令和3年度から令和7年度までの5年間で計画期間とする「第4期行政改革実施計画」については、事務事業の見直しを始め、PPPの推進や公共施設マネジメントなどのこれまでの行政改革の取り組みに残された課題を丁寧かつ確実に取り組むことを基本方針としており、引き続き、着実に取り組んでまいりたいと考えております。</p>

様式3

令和5年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所属	監査委員の意見	回答状況
<p>行政経営課</p>	<p>指定管理者制度の運用については、指定管理者及び所管課が行うモニタリングに継続的に取り組み、期間満了後の更新に向けて、これまでの導入実績の評価や検証を適切に行い、今後の指定管理者制度の活用のは非も含め、適正な施設管理のあり方についての見直しを進められたい。</p>	<p>指定管理者モニタリングレポートについては、指定管理者及び施設所管課の双方で実施し、市ホームページで結果を公表しております。また、指定管理期間満了の前々年度を評価対象とした「総合（中間）評価」を、指定管理期間満了の前年度に実施することとしております。</p> <p>令和7年度に指定期間を満了する施設については、「総合（中間）評価」に際し、施設所管課において、指定管理者制度を活用する妥当性、次期指定管理者の募集方法や業務内容との見直しについて検討を行い、9施設において募集単位や業務の仕様等の見直しにつながりました。</p> <p>今後とも本モニタリングレポートを踏まえ、必要に応じ、適正な施設管理のあり方についての見直しを進めて参りたいと考えております。</p>

様式3

令和5年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所属	監査委員の意見	回答状況
<p>行政経営課</p>	<p>公共施設マネジメントの推進については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の再編・見直しを積極的に行うとともに、これまでのアクションプランの検証に取り組まれない。 ・また、新たな施設の整備にあたっては、必要な規模や機能を十分に考慮するとともに、PPP / PFI手法を含めた事業手法を検討する際には、従来手法との比較、過去に実施した事業の評価等を踏まえ、メリット・デメリットを明確にすることで活用の是非を判断し、公共施設の整備費用や管理費用の総額の節減を図られたい。 	<p>現在、本市では公共施設マネジメントに関する実行計画である「富山市公共施設マネジメントアクションプラン」に基づき、公共施設の再編に取り組んでおり、他の計画と整合性を図りながら、地域の実情に応じた再編の取組を着実に実行していきたいと考えております。</p> <p>また、限られた財源の中で再編を進める上では、民間事業者の資金とノウハウを活用するPPP/PFIの手法は極めて有効であることから、一定規模以上の施設整備事業については、従来方式の整備手法に優先してPPP/PFI手法を検討することとしており、この検討にあたっては、金融や不動産などが専門の有識者で構成する富山市PPP事業手法検討委員会を市長の附属機関として設置し、各委員の御意見などを踏まえ、PPP/PFI手法の導入の適否の判断や、多様なPPP/PFI手法の中から最適と思われる事業手法の選択を行っているところです。</p> <p>今日の超高齢社会や今後さらに加速化する人口減少により、一段と財政状況が厳しくなると予想される中で、将来市民にも責任が持てる持続可能な都市経営を確保するため、今後も、PPP/PFI手法を適切に活用し、公共施設マネジメントに取り組んでいきたいと考えております。</p>

様式3

令和5年度決算 監査委員の意見に対する回答状況

所属	監査委員の意見	回答状況
行政経営課	<p>外郭団体等の組織・経営の見直しについて、モニタリングにより経営の効率化を図るとともに、組織の適正化にむけ、団体のあり方に関する検討に努められたい。</p>	<p>平成26年8月に総務省から「第三セクター等の経営健全化等に関する指針」が示されたことから、本市においても「富山市外郭団体のあり方の見直しに関する指針」及び「富山市外郭団体の将来の方向性」を定めてまいりました。</p> <p>これらの指針及び方向性を踏まえ、平成30年度には本市の外郭団体のうち22団体において、令和元年度から令和3年度までを期間とする第1期経営改善計画を策定しました。</p> <p>令和3年度には、合併等により外郭団体ではなくなった法人を除いた19団体において、令和4年度から令和6年度までを期間とする第2期経営改善計画を策定し、経営の効率化・健全化等に継続して取り組んでまいりました。</p> <p>さらに、令和6年度には、これまでの第1期、第2期の経営改善計画の実績を活かしながら、令和7年度から令和9年度までを期間とする第3期経営改善計画を策定したところです。</p> <p>今後、第2期経営改善計画の最終評価を法人及び団体所管課とのヒアリングを踏まえたモニタリングを通じて行うところではありますが、利用者数や売上についてはコロナ禍の影響から回復傾向が見られるものの、近年の物価上昇によるコスト増加の影響を受けており、外郭団体の利益の増加に必ずしも結びつかず、外郭団体に対する本市の財政支出額も大きな改善は見られないものと想定しております。</p> <p>令和7年度は、第2期経営改善計画の達成状況を踏まえ、「外郭団体のあり方検討委員会」に諮りながら</p>

様式3

		<p>団体ごとの将来の方向性を再度検討するとともに、経営改善計画の進捗状況についてモニタリングを行い、引き続き、経営改善や組織の適正化に努めてまいりたいと考えております。</p>
--	--	---